

別紙

「いのちの尊さ、大切さ教室」実施要領

1 開催目的

本事業は、犯罪被害者やその御家族から自らの体験を講演していただき、犯罪被害の理不尽さ、被害者等の置かれる状況、被害に遭うことによる周囲の反応を知ることにより、犯罪被害の実態や生命の大切さについての理解を深め、地域社会において犯罪被害者等を支える気運を醸成するとともに、犯罪を犯してはならないという規範意識の向上と犯罪を許さない社会の構築を図り、被害者も加害者も出さない、安全で安心なまちづくりを目的として開催しているものです。

2 開催期間

令和8年4月1日から令和9年3月31日までの間

3 開催対象

県内の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、大学・各種学校等及び一般団体

4 実施主体

岩手県警察本部

岩手県

岩手県教育委員会

公益社団法人いわて被害者支援センター

5 開催概要

(1) 犯罪被害者遺族等による講演

(2) アンケート調査（聴講者を対象に実施）

(3) 「大切な命を守る」全国中学・高校生作文コンクールの作品募集
（中学生、高校生対象）

※ 開催団体側の希望に応じて、実施内容は調整します。

6 開催効果

開催校で実施したアンケート調査において、全体の8割以上の生徒が

「講演を聴くことができて良かった」

「自分の考え方やこれからの生き方に影響があった」

と回答しているほか、自由記述においても、

「自分の命も、周りの人の命も大切にしなければならなかったと感じた」

「人を傷つけることはしてはいけないと思った」

などの回答が多数得られたことから、規範意識の向上や意識の変遷が認められます。

7 申込み

教室の開催申込みについては、岩手県警察本部県民課（電話019-653-0110）又は、県内各警察署（警務課）まで御連絡をお願いします。

「いのちの尊さ、大切さ教室」講演の概要

【犯罪被害者御遺族による講演】

○ 交通死亡事故被害者遺族（二戸市）による講演

平成12年11月に二戸市内で発生した、集団登校中の小学生が飲酒運転の軽トラックにはねられ、児童2名が死亡、6名が重軽傷を負った交通死亡事故の際、当時7歳の長女を亡くされた御遺族による講演。

講師は、この事故の後、全国各地で署名活動を行い、飲酒運転の厳罰化にご尽力されたほか、お勤めの傍ら、公益社団法人いわて被害者支援センターの理事を務められ、飲酒運転撲滅と生命の尊さを伝える講演活動を継続しておられます。

○ 交通死亡事故被害者遺族（滝沢市）による講演

平成15年6月に滝沢村（当時）内で発生した、登校中の小学生が回送運転中の路線バスにはねられた交通死亡事故の際、当時6歳の長男を亡くされた御遺族による講演。

講師は、この事故の後、いわて被害者支援センターの自助グループに参加し、被害者支援の必要性を呼びかける活動を継続しておられます。

【DVD視聴による講演】

○ 交通死亡事故被害者遺族（滝沢市）による講演

平成15年6月に滝沢村（当時）内で発生した、回送運転中の路線バスによる事故の際、当時6歳の長男を亡くされた、交通死亡事故被害者遺族を講師とした講演DVD「交通事故被害者遺族の想い」（約40分）を上映します。

○ 交通死亡事故被害者遺族（山形市）による講演

平成8年7月に山形市内において発生した、一斉下校中の小学生の列に突っ込んだ車両にはねられ児童1名が死亡、1名が重傷を負った交通死亡事故の際、当時7歳の長女を亡くされた御遺族を講師とした講演DVD「もう一度あいたい～伝えたい想い～」(約45分)を上映します。

○ 傷害致死事件被害者遺族による講演

平成14年に、青森市内で発生した傷害致死事件において、長男を亡くされた御遺族を講師とした講演DVD「犯罪被害者遺族の想い」（約30分）を上映します。

○ 強盗殺人・放火事件被害者遺族による講演

平成13年5月に、弘前市内で発生した強盗殺人・放火事件において、妹を亡くされた御遺族を講師とした講演DVD「犯罪被害者遺族の心情」（約45分）を上映します。

【警察職員による講話】

警察本部県民課被害者支援室員による講話として、犯罪被害者やそのご家族が置かれている現状、周囲の理解や被害者等への支援等のほか、被害に遭わないためにできること、被害に遭った場合の対応などについてお話しします。

講話の内容については、ご要望に添うことができますので、ご相談ください。